

丁余四方の宏莊な神社でしたが、水野忠任の焼失しました。誠に惜しいことです。この境内に寺沢志摩守の墓があります。

恵日寺

曹洞宗の寺で、鏡山の西南麓にあり、虹の松原駅より十五分。欽明天皇の御代（一四〇〇年前）朝鮮より帰った大伴狭手彦が松浦佐用姫菩提のため観音を赤水に祭つたものを、元和元年恵日寺に移し本尊としたと傳えられます。この寺にある梵鐘は、旧国密で、今から九三〇年前朝鮮で出来たものであります。裏庭は曾呂利新左衛門の築造と伝えられ、自然の山水を利用した閑寂な庭です。この寺の近くに、古墳島田塚があり、その出土品の一部が寺に保管してあります。

諏訪神社

浜崎町にあり、蟬除けの神として、農家の尊崇篤く、「おすわさん」で仲々の賑いを望みます。

王島神社

浜崎駅より徒歩約三十分、王島川のほとりにあり、神功皇后を祭つてあります。皇后が鮎を釣り征戦の吉凶を占うために上られたと伝える石が、今に残り、重輪石と云います。旧国密の太刀長船家助があります。王島川の鮎は今も昔もこの川の名物で古歌によくうたわれています。

漁する海人の児どもと人はいへど見るに知らぬ良人の子と

—— 万葉集より ——

山上憶良

娘答ふ歌

同

同

同

同

王島の二の川上に宮はあれど君を耻しみおらはさすありき
松浦なる王島河に年魚釣ると立たせる子等が家路知らずも
遠く人松浦の川に若年魚釣る妹が袂を我こそ纏かめ
若年魚釣る松浦の河の河浪のなみにし思はは我戀ひめやも
松浦河七瀬の淀は澱むとも我はよごます君を待たむ
君を待つ松浦の浦の仙媛等は常世の国の天少女かも

大村神社

浜崎より徒歩三十分、王島神社の向い側に当り、藤原広嗣公を祭つた神社であります。

東光寺

唐津市の西方約三里有浦村にある小さな禪寺であります。この寺に旧国密の薬師如来の座像があり、高さ四尺位で、作者は不明ですが、藤原初期のものと考えられています。

烏帽子燈台（西ノ浜から海上一三、四哩）

島全体が玄武岩で出来た玄海の一孤島で、夜は明皎々と輝きを放ち船の道しるべとなつてあり、その形烏帽子に似ているので、名付けられています。

芥屋の大門

唐津湾東北部林屋崎の尖端にある、玄武岩の大洞窟で、今から五十年の昔、明治三十八年四月末、現在の唐津東高等学校の前身唐津中学校の生徒九名は、ボートで芥屋の大門を訪れ、その帰途遭難して、只一人の生存者を残したと云う悲しい物語のある所です。